



平成26年3月25日

技術交流情報

【技術交流】

光を産業へ利用する提案

第31回オープンセミナー<敦賀(3/18)・福井(3/19)両商工会議所>にて、人工的な光の代表であるレーザー光(コヒーレント光)の産業利用について提案しました。レーザー光は、福井県内の企業でも盛んに活用されるようになってきており、さらに多くの地域企業様がこれらのレーザー技術を取り入れた製品開発を行うことを願って、レーザー光とはどのような特徴があるのか、どのような利用方法があるのかを具体的に紹介しました。

また、最近レーザー光以外の光(インコヒーレント光)で電磁波的な特性を示すTHz(テラヘルツ)波の産業利用の技術や波長の短い紫外光の産業利用の技術についても紹介しました。この光は、ポリエチレンの表面に紫外光を照射することにより-OH基や-COOH基などの官能基を出現させ、疎水性を示す特性を親水性の特性に変えることができ、これまで難染色であった材質が容易に濃染色可能となる技術です。

さらに、新しく運用を開始する「発展型技術相談会」についても紹介しました。これまでに地域企業様に利用していただいている制度に加え、近い将来、運用を開始する予定の「産業技術開発プラザ(仮称)」で展開する予定です。この制度は、地域企業様に最新の技術を紹介することや、地域企業様の新たな技術開発について個別に相談会を開催し、その技術について可能性を見極めるため、レーザー照射技術の「お試し試験」を行い、共同研究や成果展開事業へ結びつけ、段階を踏んで実用化を目指す事を目的としたものです。地域企業様の積極的な制度の活用を期待しています。



セミナーでの説明の様子



展示・相談の状況

一口メモ (▽*)

光(ひかり)とは、基本的には、人間の目を刺激して明るさを感じさせるものである。近年では、光の粒子性は「光子」、波動性は「光波」、光が粒子と波の二面性を持った量子は「光量子」と呼ぶ。

【技術課題解決促進事業】

4月に5年目を迎え、更に更に期待がかかる制度

平成22年度に開始した原子力機構が抱える技術課題等について成立性を見極める事業である「技術課題解決促進事業(技術交流情報No.18参照)」は平成26年4月に5年目を迎えます。平成25年度は昨年7月、公募11テーマ(ふげん:5テーマ、FBR安全技術センター:1テーマ、レーザー共同研究所:5テーマ)に17社の応募があり15社を採択し、平成26年3月の試作・調査報告会で、各テーマにおいて新しい課題も出てきましたが概ね成立性が見極められ終了しました。

今回は、平成26年5月に敦賀・福井両商工会議所にて、新規課題を紹介する第32回オープンセミナーを予定しています。このセミナーは、平成16年6月の第1回より、最近は年3回の頻度で、地域企業の方々に原子力機構で開発された技術を紹介する場として実施しているものです。



工場での立会い検査



機構 | S | 建屋での作動試験